



やない



この広報誌の発行
には共同募金が
活用されています

市社協だより

みんな仲良く暮らせるまち

若葉保育園のみなさんによる
ミュージカル「スイミー」



●小さな黒い魚スイミーは、兄弟みんなが大きな魚にのまれ、ひとりぼっちに。海を旅して出会った仲間と大きな魚に立ち向かいます。(第22回ボランティアまつり)

- P 2, 3 ボランティアQ&A、ボランティア紹介、ボランティアまつり
- P 4 生活支援体制整備事業 各地区の取り組み
- P 5 ボランティア体験講座、災害ボランティア事前登録募集、地域見守り関係者会議
- P 6, 7 共同募金のご報告
- P 8 カレー食堂、歳末たすけあい募金による見舞金配分のご報告
- P 9 UMOUプロジェクト、歳末たすけあい募金による民間地域福祉活動、災害義援金について
- P 10 地区社協ニュース(日積)
- P 11 ボランティアまつり表彰被表彰者、高校生ボランティア(祝 卒業)、福祉車両の寄贈について
- P 12 お礼とお知らせ、広告募集について、あとがき

No. 49

2020年3月 発行

ボランティア Q&A

近年「ボランティア」という言葉はとても身近なものになりました。東京オリンピックでのボランティア、災害が起きた時のボランティアなど聞かない日はないかもしれませんが、しかし、まだボランティアというものに漠然としたイメージがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。よくある疑問を Q&A 方式で確認し、理解を深めてみませんか？



Q ボランティアが一般的になったのはいつ頃から？

A 平成7年1月17日に発災した阪神・淡路大震災をきっかけに広まりました。

日本においては、それまで特別な人がするものだったボランティアが、阪神・淡路大震災の復興活動をきっかけに広く一般的なものになりました。なお、発災した日に因んで1月17日は「防災とボランティアの日」に制定されています。

Q ボランティアに定義はあるの？

A 明確な定義はありませんが、厚生労働省が定めている位置づけがあります。

ボランティアを定義することは難しく、厚生労働省は「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」であり、更に活動の性格に「自主性（主体性）」、「社会性（連帯性）」、「無償性（無給性）」等があげられるとしています。また、ボランティア活動にかかった費用等の金銭を得るものを「有償ボランティア」と呼びます。

Q どんなボランティアがあるの？

A 全国にはさまざまなボランティアがありますが、柳井市ボランティアグループ連絡協議会にご登録いただいている団体の一部を紹介します。

音訳しらかべの会

「広報やない」や、「市社協だより」、などを音訳し利用者へ届けています。その他にも利用者の要望に応じて雑誌や新聞なども音訳しています。また、説明書、郵便物等の点訳、点字のポケットカレンダーの作成と配布もしています。



日積地区老人給食ボランティアグループ

年に8回、日積で採れた野菜を中心に季節のものを取り入れた献立を考えて、民生委員児童委員さん、食生活改善推進員さん、福祉員さん、賛同者の皆さんの協力の下、お弁当をつかって地域の高齢者等に配食しています。

椿の会

毎週火曜日に柳井市総合福祉センターで、頭と手と心と体を動かしながら布や紙で小物作りをしています。作品は柳井まつりや、ボランティアまつりなどの会場で販売し、売上の一部を市社会福祉協議会に寄付しています。



柳井手話グループ サルビアの会

毎週火曜日、金曜日に柳井市総合福祉センターで手話の勉強会を行っています。令和元年6月に設立40周年を迎え、これからも地道な活動を聴覚障害者の方と共に続けていきたいです。

おたよりボランティア

毎週木曜日 13時から柳井市総合福祉センターにて活動をしています。季節のお花やお野菜を描いた絵手紙は、市社協を通じて柳井市内の80歳以上のお一人暮らしの方に送っています。



第22回 ボランティアまつりが開催されました

2月9日(日)にアクティブやないにて第22回ボランティアまつりが開催されました。

「広がれボランティアの輪」をテーマに市内のボランティア団体の様子を知っていただき、ボランティア活動への参加者を拡充することを目的として行いました。

こはるさんによるトーク&ライブ



ケナフのはがきづくり、おひな様づくり、小物の販売の様子

生活支援体制整備事業の取り組みについて

住み慣れた地域で安心していつまでも暮らせるよう支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

● 日積地区

平成28年10月から1時間100円のチケット制で日常生活の困りごとを支援する「日積ほっとネット」と、社会福祉法人 最勝会様のご協力の下、原則月1回の「日積ほっとサロン」(参加費1回300円)を開始しました。



● 柳東地区

平成30年6月より自治会単位を原則として、住民同士での支え合いで「ゴミ出し」「見守り」活動が始まりました。利用を希望される方はお住まいの自治会長さんにご相談ください。利用は無料です。

● 柳北地区

平成30年6月より自治会単位を原則として、住民同士での支え合いで「ゴミ出し」「見守り」活動が始まりました。利用を希望される方はお住まいの自治会長さんにご相談ください。利用は無料です。



● 平郡東地区

平成30年6月に「平郡東ふれあい見守り協力隊」が立ち上がり、地域の方を見守っています。高齢者が住み慣れた故郷で安心・安全・穏やかな生活が送れるよう事業を進めています。利用は無料です。

● 新庄地区

令和元年10月から住民同士の助け合いによる、ちょっとした困りごとの「ゴミ出し」「見守り」に取り組んでいます。出張所で1回100円のチケットを購入し、サービス利用の際にお手伝いをしてくれた人にお渡しします。



● 阿月地区

令和元年10月に「阿月ささえ愛ネット」が立ち上がりました。「ゴミ出し」や、支えてくれる人が買い物に出る際についてにお買い物をしてもらう「ついでにお買い物」サービスをしています。利用は無料です。

老人クラブとの連携

令和2年1月24日に柳井市総合福祉センターにおいて各地区協議体の生活支援コーディネーターと地区・単位老人クラブ会員の顔合わせと、生活支援の取り組みの連携のために総合事業推進会議を開催しました。お互いの活動状況を共有し、自分の住んでいる地域に困っている人がいたら、どうやって支えていくかを確認し合いました。

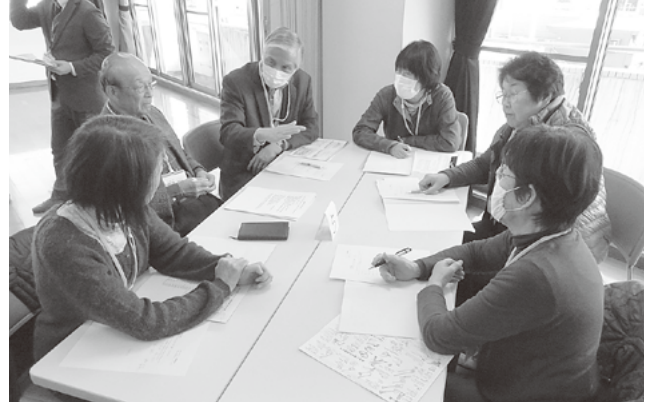


ボランティア体験講座を実施しました

令和2年2月27日に災害時に役立つ技術や知識を深めるためにボランティア体験講座を柳井市総合福祉センターにて実施しました。始めに山口県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉班 主事 大田 惇貴 氏より災害ボランティアと災害ボランティアセンターについて講義していただき、後半ではグループに別れ、災害に備えて行っていること、また災害時にはこういった活動ができるかを話し合いました。



過去の災害ボランティア活動を説明



自分でもできそうなことについて話し合い

災害ボランティアの事前登録を募集しています!

災害が発生した時、迅速にボランティア活動が行えるよう、災害ボランティア事前登録を受け付けています。

登録対象

- 市内に在住、勤務、在学する15歳以上の個人
 - 市内に拠点を有している団体や企業
- ※18歳未満の方は保護者の同意が必要です

★詳しくは柳井市社協までお問い合わせください。★



地域見守り活動関係者会議 (令和2年2月18日 於：柳井市総合福祉センター)



高齢者や障がい者等が安心して暮らせるよう見守りの充実を目的に会議を行いました。当日は、市社協へ連絡があった事例報告、山口県柳井警察署、柳井地区広域消防組合から報告、また柳井市消費者安全確保地域協議会からの事例報告もあり、サギの手口、子ども安全対策、見守りネットワーク等の情報を共有しました。その後「認知症」の研修も行い有意義な会議となりました。

(令和2年2月末現在の協定事業者：46事業者)
(令和元年度2月末まで 5件の通報)

学校募金のご協力
 (令和元年10月~令和2年2月)



大島小学校



柳東小学校



小田小学校



柳井南小学校



平郡東小学校



柳井小学校



余田小学校



柳北小学校



新庄小学校



伊陸小学校





柳井中学校



大畠中学校



柳井南中学校

歳末たすけあい募金街頭募金活動

柳井学園高等学校



柳井学園レオクラブの皆さんのご協力により街頭募金を実施しました。50,814 円の募金が集まりました。

柳井高等学校



募金百貨店プロジェクト 有限会社山中



12月9日、10日の2日間、延べ129人の柳井高等学校の生徒さんがダイレックス柳井店、ゆめタウン柳井店、ミスターマックス柳井店で街頭募金を実施されました。集まった129,593円の募金を柳井市共同募金委員会にご寄付いただきました。

柳井学園高等学校、柳井商工高等学校の生徒さんのご協力により、ボランティアまつりの会場で14,831円の募金が集まりました。ありがとうございました。



柳井広域仏教会



柳井市子ども会育成連絡協議会



ボーイスカウト第3団





赤い羽根カレー食堂 (12月24日)

福祉の市 (11月23日)



柳井学園レオクラブの皆さんにご協力いただき、72,485 円の募金が集まりました。



柳井市連合婦人会、市社協OB会の皆さんの協力のもと総合福祉センター 4 階を会場に、カレー食堂を開催しました。多くの方にご来場いただき、88,000 円の売り上げがありました。売上金は全額歳末たすけあい募金に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



たくさんのご協力ありがとうございました
皆さまからお寄せいただいた募金は次のとおりです。

実績額	共同募金 (A募金・B募金)	7,159,208円
	歳末たすけあい募金 (C募金)	3,810,806円
	合計	10,970,014円

(令和2年2月10日現在)



歳末たすけあい募金による見舞金配分のご報告

配分先	人数・世帯数	配分額(円)	備考
身体障害者手帳 (1・2級) の方	160	800,000	一人あたり 5,000円
療育手帳 (A・B判定) の方	80	400,000	一人あたり 5,000円
精神保健福祉手帳 (1・2級) の方	72	360,000	一人あたり 5,000円
ひとり親家庭等 (福祉医療受給者証をお持ちの家庭)	77	521,000	1世帯当たり 5,000円
	子ども 136人		子ども一人あたり 1,000円
要介護度5を認定された方	19	95,000	一人あたり 5,000円
要介護度5を認定された方と同居し介護されている方	19	95,000	一人あたり 5,000円
民間地域福祉活動事業助成	—	29,547	市内福祉施設による事業
	—	89,000	地区社協による事業
事務費	—	49,579	
合計		2,439,126	

いらなくなった羽毛製品をご寄付ください

UMOUプロジェクト in 山口

使わなくなった羽毛製品を回収し、羽毛がリサイクルされ、その収益金は、赤い羽根共同募金を通じて自分の町の福祉を良くする仕組みに活用されます。



製品についている品質表示の中に「ダウン」「フェザー」の割合が記載されています。
「ダウン＝羽毛」「フェザー＝羽根」になります。
ダウン率50%以上が「羽毛布団」
ダウン率50%未満は「羽根布団」になり、回収の対象となりません。

品質表示

水鳥羽毛	100%
ダウン	70%
フェザー	30%



ここがポイント！

平成29年6月から令和元11月までにご寄付いただいた羽毛製品は布団が22枚、ダウンジャケットが8着でした。ご協力ありがとうございました。



歳末たすけあい募金による民間地域福祉活動



柳井地区社会福祉協議会 柳北部会
どんど焼き、おしくらまんじゅう大会



阿月地区社会福祉協議会
地域の集い いきいきサロン歳末ぜんざい交流会



どんど焼きで一年間の無病息災を願い、おしくらまんじゅう大会をして地域の交流が図られました。

地元の農産物の販売や輪投げ大会を行い、ぜんざいを食べて地域住民同士の交流を深めました。

現在の義援金募集状況

◆令和元年台風第19号災害義援金

※募集期間：令和2年3月31日まで

栃木県	福島県
宮城県	群馬県
静岡県	埼玉県
岩手県	千葉県
長野県	中央共同募金会

◆平成30年7月豪雨災害義援金

※募集期間：令和2年6月30日まで

岡山県
愛媛県
広島県
中央共同募金会

◆平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

※募集期間：令和2年3月31日まで

◆平成28年熊本地震義援金

※募集期間：令和2年3月31日まで

ご協力ありがとうございました（敬称略）

◆令和元年台風第19号災害義援金

中央共同募金会へ	社会福祉法人 恒和会
	大畠中学校
	匿名

広島県へ	匿名
福島県へ	柳井中学校



【問い合わせ先】

柳井市共同募金委員会（柳井市社会福祉協議会内）

TEL: (0820) 22-3800 FAX: (0820) 23-1107

地区社協ニュース No.20

日積地区社会福祉協議会
会長 高井孝則

昨年4月、大里地区へ出張所・公民館が移転しました。日積地区の人口は1,373人、世帯数は751世帯（令和元年12月現在）で、高齢化率は55%を超えました。「ささえ合って、元気で安心して暮らせる日積をみんなでつくりましょう」を引き続き活動目標とし、各種事業に取り組んでいます。以下、特徴的なものをご紹介します。



▲三世代ふれあい交流事業▲

毎年1月7日に、ひづみ保育園において園児・小学生・保護者・地元有志が昔の遊びをして楽しいひとときを過ごします。遊んだ後は、1年間の無病息災を願っておいしい七草がゆをいただきます。



▲三世代交流もちまき▲

毎年12月に実施される「日積ふるさと祭り」でもちまきを行っています。今年は第37回となり、長年にわたり続いている人気イベントです。

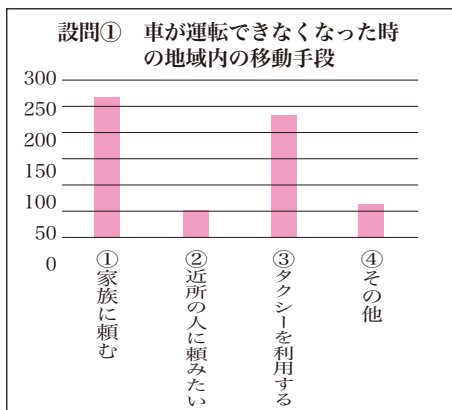
日積地区の公共交通



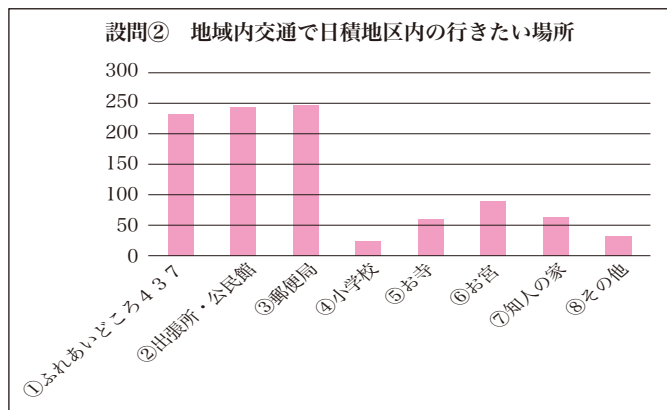
平成25年10月から高齢者の買い物や通院等の不便さを解消するために「ふれあい号」を運行しています。年間延べ1,000人近くが利用しています。更に新しい取り組みとして、日積の地域内を移動するための車が運行できないだろうかと、地域内交通検討委員会を立ち上げ、実現に向けて取り組んでいます。地域の皆さんのニーズを把握するためにアンケート調査も行いました。できるだけ早い時期に試行の予定です。

日積地区地域内交通アンケート集計結果の一部（総回答数：477人）

（設問①回答）



（設問②回答）



2月9日(日)に行われた第22回ボランティアまつりにおいて柳井市社会福祉協議会長より、永年、社会福祉事業に功労のあった方に表彰状を、聴覚障害福祉を中心に活動されておられる方に感謝状を贈呈いたしました。

★受賞おめでとうございます★



【表彰状の部】(順不同 敬称略)

●社会福祉事業部門(福祉員としての功績)

佐村美都里(柳井)	國原桂子(柳井)
重岡優(柳井)	重岡順子(柳井)
福田フミエ(柳井)	中山隆(新庄)
山田正雄(大島)	

●社会福祉事業部門(社会福祉協議会役職員としての功績)

橋本壽夫(日積地区社会福祉協議会 理事)
酒谷鉄彦(伊保庄地区社会福祉協議会 理事)

【感謝状の部】(奉仕などによる協力)

國村マチ子(柳井手話グループ サルビアの会)
木村幸生(柳井手話グループ サルビアの会)

★祝 卒業★

3年間ボランティア活動お疲れさまでした

勉強のかたわら、ボランティア活動に積極的に取り組んでこられた皆さまに、柳井市社会福祉協議会長から感謝状と記念品をお贈りしました。(順不同 敬称略)

●柳井学園高等学校

株本優衣	二反田袖衣	佐上春華	芝田麗奈	萩原樹里
藤本心咲	松葉郁奈	芳崎咲来	上田友恵	大下未咲
小田麻桜	小池正子	後藤淋	末岡愛梨	杉本莉乃
高岸涼	高橋朋袈	竹中梨花	立石香帆	中野伶香
春山みな	山根稚菜			

●柳井商工高等学校

新河みなみ	南知佳	川崎千尋	佐藤愛海
上手理央	平川みさき	廣木南美	



福祉車両を寄贈していただきました

令和2年2月17日に浄土真宗本願寺派山口教区様より地域福祉活動の充実のために福祉車両の寄贈をいただきました。

柳井市社協では車椅子に乗ったまま後部座席に乗車できる福祉車両(軽自動車、普通車)の貸し出しを行っております。お気軽にお問い合わせください。



体調を崩しやすい季節です。手洗いやうがいを行いましょう。

咳・くしゃみをする際はマスクやティッシュ、ハンカチ、袖などを使う咳エチケットを徹底しましょう。



お礼とお知らせ

皆さまよりあたたかい善意をお寄せいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

令和元年10月1日～令和2年2月末（順不同・敬称略）

香典返し・玉串料返しの部

中次 幸代（御主人）	中次 俊郎 様	[柳 井]
河邊 泰子（御主人）	河邊 登 様	[大 島]
山下 政勝（御母堂）	山下ハル工 様	[柳 井]
秋元 昭子（御尊父）	秋元 義正 様	[柳 井]
坂原 正人（御令室）	坂原 妙子 様	[新 庄]
中村 茂夫（御令室）	中村あや子 様	[阿 月]
國行 重豊（御母堂）	國行千枝子 様	[伊保庄]
藤本ノブ子（御主人）	藤本 貞夫 様	[柳 井]
大田 明彦（御母堂）	上田喜美子 様	[柳 井]
匿名 1名		

一般寄付の部

福本 邦男	3,000 円
福祉の市実行委員会（バザーの売上）	120,875 円
福祉の市実行委員会（パン・菓子等の売上）	40,529 円
柳井竹細工教室	10,000 円
椿の会（福祉の市の売上）	15,000 円
椿の会（ボランティアまつりの売上）	15,000 円
柳井手話グループサルビアの会	13,350 円
柳井学園高等学校	10,000 円
柳井市ボランティアグループ連絡協議会	20,000 円
山口県東部ヤクルト販売株式会社	59,000 円
匿名 1名	5,000 円
匿名 1名	1,000 円
柳井高等学校	2 円切手 50 枚

特別会費（1口：3,000 円）

和田 正裕 1口	将棋クラブ 1口
放光保育園 1口	羽仁保育園 3口
新庄保育園 1口	若葉保育園 1口
柳井保護区保護司会 1口	いちごの会 1口
養護老人ホーム あそか苑 1口	
特別養護老人ホーム 四季の里 1口	
特別養護老人ホーム 松風苑 2口	
介護老人保健施設 まつかぜ 1口	
社会福祉法人 恒和会 ケアセンターゆうわ 1口	
社会福祉法人 恒和会 ケアハウスゆうわ苑 1口	
社会福祉法人 さつき会 柳井ひまわり園 2口	
特定非営利活動法人 つばさ ワークショップ白壁 1口	
特定非営利活動法人 松久会 やなぎ園 1口	

広告掲載のご案内

「市社協だより」内のページの一部を広告媒体として活用し、民間企業等の広告掲載をしております。掲載料は次のとおりです。お気軽にお問い合わせください。

	1回の掲載料	年間(3回)の掲載料
1マス (88mm×35mm)	5,000 円	12,000 円
2マス (タテまたはヨコ)	10,000 円	24,000 円
全マス (4マス分)(176mm×70mm)	20,000 円	48,000 円

あとがき

今年の冬は雪も降らず暖かかったですね。家の木蓮の花目が膨らみ早く咲くのではないのでしょうか。また、南極大陸では観測史上最高温度 20℃がでたそうです。気候変動の前触れなのか気になります。年々災害が多発する中、自身の安全を確保しつつ弱者に対する気遣いをし、お互いが元気に過ごせるようになればよいな。一步前へ。(鳴瀬秀雄)

編集・発行

社会福祉法人 柳井市社会福祉協議会

〒742-0031 柳井市南町三丁目9番2号
柳井市総合福祉センター内
TEL (0820)22-3800 FAX (0820)23-1107
HP : <http://yanaicityswc.wordpress.com>
Mail : yanai-syakyo@themis.ocn.ne.jp

和顔愛語 和やかな笑顔・優しい言葉

養護老人ホーム あそか苑 特別養護老人ホーム 四季の里
サービス付高齢者向住宅 ASOKA やない

社会福祉法人 最勝会 最勝会トップ

ホームページ <http://www.saisyokai.or.jp/>
お問い合わせ/代表電話 (0820) 28-5015

社会福祉法人 松風会

特別養護老人ホーム 松風苑
デイサービスセンター 松風苑
松風苑居宅介護支援事業所

お問い合わせ/代表電話(0820)23-6363



特別養護老人ホーム大畠苑
大畠苑デイサービスセンター

千寿会の基本理念

敬愛・奉仕・誠実

社会福祉法人 千 寿 会

お問い合わせ/代表電話(0820)45-3838



誠実

真心

融和

社会福祉法人 恒和会
〒742-1352 柳井市伊保庄字近長浜 1-4
TEL 0820-27-6001 FAX 0820-27-0800
<http://yuwaen.net>

